

第23回 外国人による 日本語スピーチコンテスト 発表原稿集



2025年10月19日（日）開催

会場：福岡市科学館 サイエンスホール

共 催：日本語スピーチコンテスト実行委員会

福岡市、（公財）福岡よかトピア国際交流財団

※原稿は、原則出場団体からご提出いただいたものをそのまま掲載しています。

出場者

- ① Rai Sajan Das (ライ サジャン ダス) 思いやり文化を私の国に… 2
ようこそ日本語教室
- ② Phyto Hein Kyaw (ピョー エイン チョー) 人生の意味 … 3
日本国際語学アカデミー・福岡校
- ③ Shamohammadi Mina (シャモハマデイ ミナ) 人生は選択のホラー… 4
日本語カフェ 水曜よふかし
- ④ Tolibjonov Khumoyun Dilshod Ugli 旅行… 5
(トリブジノフ フモユン デイルショド ウグリ)
日本語教室金曜クラブ
- ⑤ Sharma Lalita (シャルマ ラリタ) 私の強い味方 … 6
日本グローバル学院
- ⑥ Paudel Sandip (パウデル サンディプ) 日本に留学した学生の生活と問題… 7
GAG 日本語学院
- ⑦ 張 青燃 (チョウ セイネン) もう1人じゃないよー … 8
楽しい♪日本語クラブ
- ⑧ Lim Figo (リム フィゴ) 日本は友達の家 … 9
愛和外語学院
- ⑨ Butet Marthalina Saragih (ブテト マルタリナ サラギ) ごちそうさま … 10
高取日本語教室
- ⑩ Phway Phway Naing (プウェイ プウェイ ナイン) 自分らしく … 11
学校法人麻生塾 日本語科
- ⑪ Oni Afroza Khanom (オニ アフロザ カノム) 2つ目の夢に向かって … 12
小さな国際交流の会
- ⑫ 金 権英 (キム グンヨン) 日本の親切が私にくれた希望 … 13
ももちはま日本語クラブ
- ⑬ Doan Nhat Quang (ドアン ニヤット クアン) 日本における人工知能とスマートな生活 … 14
日本語クラスみらい(未来)

氏名	Rai Sajan Das (ライ サジャン ダス)	
テーマ	思いやり文化を私の国に	
教室名	ようこそ日本語教室	

こんにちは。私は、ネパールからまいりました留学生のサジャンです。日本に来たのは18歳の頃です。慣れない日本での生活やアルバイトの人間関係に悩み、ストレスが続く毎日でした。そんな時に私を癒してくれたのは、日本で初めて手で触れた雪でした!それからというもの、私は雪とお友達になりました。雪を見てるとあんなに辛かったストレスも、雪のように消えていきました。授業中にも、ふわりふわりと降っている雪をずうっと見ていて、先生に注意されたものでした。

日本には四季があります!それぞれの季節ごとに花見、夏祭り、花火大会、紅葉狩り、お正月など、季節を感じられる行事があり、自然と共に生きる日本人の心の豊かさを感じます。ネパールでは、そのような習慣はないので、非常に感動しました。

日本に住むことが長くなり、日本語も少しずつ分かってきました。時々混乱することがありました。私が日本に来て1年くらいの時、日本人の友人にコーヒーを入れようかと聞いた時曖昧に、「大丈夫だよ」という返事でした。それで、コーヒーを入れたら、不思議そうな顔をされました。この言葉は、日本の若者言葉ではNOという意味があるそうです。同じように。「結構です」「また今度」「そのうち」などの、外国人にとっては困った表現です。

でも、これらの表現は、一見すると曖昧ですが、相手を不快にさせないように配慮した結果であり、日本特有の「思いやり」文化を反映しています。日本では、誰かに会う時、相手の立場になって考え、気持ち良くすごせるように、細かいところまで気をくばる文化があります。

この「思いやり」は、「おもてなし」の精神として、日本の接客業や日常生活に根付いています。例えば、おしぼりの提供、席への案内、丁寧な言葉使い、席を譲る、荷物を持つ、お中元、お歳暮などです。

ある金曜日、バイト先で何人かと飲み会に行きました。飲み会が終わり会計になり、一番偉い部長が全員分全額払ってくれました。その時は、私も含め全員がお礼を言いました。これは万国共通でしょう。月曜日になり、日本人の同僚は先週おごってくれた部長に再度お礼を言っていました。このことで、私は日本の文化習慣では、日が変わってお礼を言うことも普通なのだと認識しました。「おもてなしは感謝を伝える」なのです。

さて、日本での「おもてなし」ビジネスは、海外で通用しているのでしょうか?残念なことに現地で働く人に理解できず失敗している例も数多くあるようです。これは、もちろん風土・慣習・経済事情もありますが、何より国民性の違いにあると思います。「おもてなし」は、相手への敬意と感謝の気持ちを込めた日本独特の文化です。日本人は長年の経緯や訓練によって「おもてなし」の心を育んできました。

それが、現地で働く人には、一朝一夕では理解できないでしょう。

私は、日本で生活する中で自然とその習慣が身についてきました。自分自身も成長していると感じています。今後も、もっと深く日本文化を学び、将来は自分の国に日本の「おもてなし」文化を伝えていけるようになりたいと思っています。以上です。ご清聴ありがとうございました。

氏名	Phyo Hein Kyaw (ピョー エイン チョー)	
テーマ	人生の意味	
教室名	日本国際語学アカデミー・福岡校	
<p>みなさん、人生の意味とは何だと思えますか。私にとっては毎日考えても答えられないひとつの問題でした。</p> <p>子供のころは、毎日遊んだり、おいしいものを食べたり、毎日楽しくて、人生の意味なんて、全然考えたこともありませんでした。高校生になってからは、今度は勉強ばかりして、いい大学に入ることが一番大切なことでした。でも大人になっていろいろなことがわかるようになりました。そして、わかればわかるほど、心配なことや心の苦しみが増えていきました。そんな思いとともに、「私はなぜ生きているのだろう。人生には意味があるのだろうか」と自分自身に問いかけるようになりました。いくら自分に問いかけても答えは見つかりませんでした。それでも一生懸命探し続けました。</p> <p>あるとき、私にとっての人生の意味は、自由な人になることだと思いました。ミャンマーにいたころは、親が決めた国立大学に進学しましたが、国の政治状況が悪化したので辞めざるを得ませんでした。それで、子どものころから興味を持っていた、日本語を学びたいと思いました。そしてミャンマーの日本語学校に通って、自分で決めて、日本に留学しました。</p> <p>ところが、心の中ではこれが私にとっての人生の意味だと感じられませんでした。今はやりたいことは何でもできる。欲しい物も手に入れらる。なぜ、どうして幸せに感じないのだろう。</p> <p>そうやって考えこんでいたとき、ディズニー映画「ソウルフル・ワールド」という映画に出会いました。その中にこんな場面があります。それは魚の話です。若い魚が年寄りの魚に言います。「僕は海っていうものをみつきたいです」「海だって？」年寄りの魚が言います。「今いる場所が海だよ」「これ？」と若い魚。「これは水です。僕がほしいのは海なんだ」</p> <p>そうだ！私もこの若い魚と一緒にいたい。私も今、海の中にいるのに、まだ海を探していたんだ。人生の意味は特別なことにだけあるのではない、と気づきました。</p> <p>朝の光、おいしい食事、誰かとのおしゃべり、アルバイトでできたちょっとしたこと、そして“ありがとう”という気持ち。こういうひとつひとつの日常が、私の人生を豊かにし、意味を与えてくれると今感じています。今、私のまわりに、様々な国の人や、様々な文化や意見を知ることができます。</p> <p>確かに、人によって人生の意味は私と違うと思います。それでも自分のまわりにある、小さなことを大切にしたいです。なぜなら、この小さなことが、いつか忘れられない意味を作ってくれるからです。私も今から身近にある小さな幸せを大切にしながら、自分の目標に向かって努力を続けていきたいです。そしていつか、誰かの役に立てる人になりたいと思っています。今日もみなさんと大切な時間を過ごせて幸せです。</p>		

氏名	Shamohammadi Mina (シャモハマデイ ミナ)	
テーマ	人生は選択のホラー	
教室名	日本語カフェ 水曜よふかし	

みなさん、こんにちは。ミナです。2年前、進学のために日本に来ました。

みなさんは、ホラー映画やゲームに興味がありますか？

怖いものがちょっと苦手です。

でも、今日はそういう意味での「怖さ」ではなく、「選ぶことの怖さ」について話したいと思います。

人生は、小さな選択であふれています。たとえば、「朝、コーヒーを飲むか飲まないか」とか、「どの道を通(とお)って学校や職場に行くか」などです。その中には、ほとんど意識(いしき)せずに選んでいることもあります。でも、時間(じかん)やエネルギーが必要で、少し怖く感じるような選択もあります。

たとえば、全(まった)く違う文化や生活スタイルの国へ留学すること。すべてを一(いち)から学び直(なお)さなければならぬ、まるで子供(こども)に戻ったような感覚(かんかく)。または、新しい人間関係(にんげんかんけい)を始めること。そのためには自分の弱さをさらけ出(だ)す勇気(ゆうき)が必要です。それはとても怖いことです。

大人になると、「友だちになりませんか？」と気軽に言えなくなります。

「さびしい」と認めることも怖くなってしまいます。

でも、そんな「怖さ」の中にも、大切な出会いや選択があると思います。

(ある日、)私は怖かったけれど、思いきってある友達に近づいてみることを選びました。彼女の時間を邪魔(じゃま)してしまうかも(しれない)…と不安(ふあん)でしたが、勇気を出して声をかけました。

その結果、その友達と仲良くなり、彼女の紹介(しょうかい)で「日本語カフェ水曜よふかし」に来る(行く)ことができました。そこでは、みんな日本語がとても上手で、「間違えたらどうしよう」「恥(は)ずかしい思いをすのかもしれない」と、最初は怖かったです。

でも、怖さよりも「挑戦(ちょうせん)すること」を選んで本当によかったと思います。

日本に来たばかりの頃(ころ)、コンビニで「袋(ふく)いりますか？」と聞かれても答(こた)えられず、バスの運転手(うんてんしゅ)さんに「次の停留所(ていりゅうじょ)で降(くだ)ります」と言うこともできなかった私が、英語を話す人たちとしか話せなかった私が、今では、

だんだん日本語話せるようになって、

日本語カフェでたくさんの人と交流(こうりゅう)し、すてきな友達に出会(う)え(う)ことができました。

私を受け入れて、励(はげ)ましてくれた友達。そして、このスピーチコンテストに挑戦(ちょうせん)する勇気をくれた仲間たち。ここで、心から感謝(かんしゃ)を伝えたいです。

日本語で1分間のプレゼンをするこさえ難(がた)しかった私が、今、こうして皆さんの前で(4分間も)スピーチができています。

(皆さんも、勇気を出して挑戦(ちょうせん)してみませんか？「怖い選択」があなたの人生を変えるかもしれません！)

ご清聴、ありがとうございました。

氏名	Tolibjonov Khumoyun Dilshod Ugli (トリブジノフ フモユン デイルショド ウグリ)	
テーマ	旅行	
教室名	日本語教室金曜クラブ	

みなさん、こんにちは。

きょうは、わたしのだいすきな「旅行(りょこう)」についておはなしします。

旅行(りょこう)ときくと、みなさんはどんなことを思(おも)い浮かべますか。

うつくしい景色(けしき)やおいしい食(た)べ物(もの)、あたらしい出会(であ)いなど、たくさんの魅力(みりょく)がありますね。

わたしにとって旅行(りょこう)は、自分(じぶん)の世界(せかい)を広(ひろ)げるチャンスです。

わたしは去年(きょねん)、京都(きょうと)を訪(たず)ねました。

歴史(れきし)のある寺(てら)や神社(じんじゃ)を歩(あ)るっていると、まるでタイムスリップしたような気持ち(きもち)になりました。

金閣寺(きんかくじ)の金色(きんいろ)の輝(かが)やき、静(しず)かな竹林(ちくりん)の道(みち)、夜(よる)の祇園(ぎおん)の灯(あかり)どれも忘(わす)れられない光景(こうけい)です。

観光(かんこう)だけでなく、地元(じもと)の人(ひと)との会話(かいわ)も心(こころ)に残(のこ)りました。

ある小さな店(みせ)の主人(しゅじん)が、「旅(たび)は人(ひと)との出会(であ)いが一番(いちばん)の宝物(たからもの)だよ」と話(はな)してくれました。

その言葉(ことば)は今(いま)でもわたし(わたし)の胸(むね)に響(ひび)いています。

旅行(りょこう)の魅力(みりょく)は、あたらしい発見(はっけん)だけではありませぬ。

普段(ふだん)の生活(せいかつ)から離(はな)れることで、自分(じぶん)自身(じぶん)を見(み)つめ直(なお)す時間(じかん)にもなります。

知(し)らない土地(とち)で迷(まよ)ったとき、助(たす)けてくれる人(ひと)の優(やさ)しさにふれると、人(ひと)とのつなかりの大切(たいせつ)さをあらためて感(かん)じます。

また、異(こと)なる文化(ぶんか)や価値観(かちかん)に出会(であ)うことで、自分(じぶん)の考(かんが)え方(かた)が柔(やわ)らかくなる気(き)がします。

もちろん、旅行(りょこう)には計画(けいかく)や準備(じゅんび)が必要(ひつよう)です。

お金(かね)や時間(じかん)もかかります。

しかし、その努力(どりょく)を越(こ)えて得(え)られる体験(たいけん)は、何物(なにもの)にも代(か)えがたいものです。

写真(しゃしん)やお土産(みやげ)は時間(じかん)とともに色(いろ)あせるかもしれませんが、心(こころ)に刻(きざ)まれた思(おも)い出(で)はずっと輝(かが)やき続(つづ)けます。

わたしは、これからも日本(にほん)や海外(かいがい)など、さまざまな場所(ばしょ)を旅(たび)してみたいと思(おも)います。

そして、そこで出会(であ)った人(ひと)や見(み)た風景(ふうけい)から学(まな)んだことを、自分(じぶん)の成長(せいちょう)につなげたいです。

みなさん(みなさん)もぜひ、忙(いそ)がしい日常(にちじょう)から一歩(いっぽ)外(そと)に出(で)て、あたらしい景色(けしき)を探(さが)しに行(い)ってみてください。

きっと自分(じぶん)だけの素晴(すば)らしい発見(はっけん)が待(ま)っているはず(はず)です。

ご清聴(せいちょう)ありがとうございます。

氏名	Sharma Lalita (シャルマ ラリタ)	
テーマ	私の強い味方	
教室名	日本グローバル学院	

こんにちは、みなさん。私はシャルマ ラリタと申します。ネパール出身で、今、日本グローバル学院で勉強しております。私は日本へ来て、1年半ぐらいたちました。今日まで、いろいろな驚きや発見がありました。

今日、ここにも留学生がいらっしゃると思いますが、みなさまに、一つご質問します。日本へ来て、驚いたことはなんでしょうか。きっと一つではないと思います。私もたくさんあります。その中に日本のコンビニがあります。

私は日本へ来て初めてコンビニに入った時、店員さんに大きな声で「いらっしゃいませ!」と言われました。その時、私は「え?私に?」と思って驚きました。まるで、私が有名人になったかのように感じて、気分がよくなりました。ネパールでは、お客さまが来ても、こういうふうに歓迎しないからです。でも、しばらく見ていると、ほかのお客さんにも「いらっしゃいませ!」と言っていました。日本では、お客さんが来ると、だれにでも「いらっしゃいませ」ということが分かった時は、ちょっと残念でした。

もう一つ驚いたのは、コンビニが24時間営業であることです。ネパールにも小さいお店やスーパーがあちこちにたくさんあって、食品や日用品が買えるので便利ですが、24時間営業ではありません。だいたい朝6:00から、夜10:00ごろまでです。日本のコンビニなら、24時間営業しているところがほとんどなので、時間を気にせず利用できて、とても助かります。

私はアルバイトで疲れてしまい、おなかはずいいているのにご飯は作りたくない、という日がありました。それでコンビニによって、何か買おうと思いました。それまでは、いつも必要なものだけ買っていましたが、その日はゆっくりお弁当やおにぎりを見ってみました。その種類の多さに驚きました。また、お店で温めてもらえるし、食べてみるとおいしかったです。店員さんの接客もていねいで、疲れていた私はほっとしました。

そのほかに、コンビニのトイレがきれいで、無料で使えることもわかりました。私の国では、有料の場合も多いので、こんなにきれいなトイレが無料で使えることに驚きました。さらに、日本のトイレにはたくさんボタンがあり、水の音が出たり、いすがあたたかくなることにも驚きました。

また私は公共料金の支払いや、コピーも利用したことがあります。私たち外国人でもコンビニで住民票をとることもできます。荷物も送ることができます。学校とアルバイトの生活で、銀行や市役所に行けなくても、近くのコンビニに行けばできることが本当に多いです。

日本に来る前、コンビニは「ちょっとした買い物ができる場所」というイメージしかありませんでした。しかし、実際に日本のコンビニを利用して見て、その便利さに本当に驚きました。疲れた時は私の食事を解決してくれて、忙しい時には銀行や市役所にもなってくれる日本のコンビニは私の最強の味方です。

以上で私のスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

氏名	Paudel Sandip (パウデル サンディプ)	
テーマ	日本に留学した学生の生活と問題	
教室名	GAG 日本語学院	

みなさん、こんにちは。私はパウデル サンディプと申します。GAG 日本語学院の学生です。去年の 7 月にネパールの Bag lung から来ました。

留学生のみなさん、日本の生活はどうか。日本人のみなさんは留学生がどんな生活をしているか知っていますか。私達は楽しいことばかりだけではなく、色々な問題に直面することもあります。今日は日本に留学した学生の生活と問題について発表します。

私達はみんな、国の家族から離れてここまで来ました。色々な国の友達と日本語や日本の文化を学んでいます。すべての留学生の 1 番の問題は日本語だと思います。日常生活やアルバイト先で日本語を使わなければなりません。日本へ来たばかりのころ、日本語が分からなくて失敗したことがあります。野菜に塩を入れて食べたら、とてもあまかったです。それで、私は日本の野菜はどうしてあまいんだろうと思いました。あとで、塩と砂糖を間違えて買ったことに気がつきました。

次に経済的な問題があります。日本はネパールより物価が高いです。私達は留學生活を続けるために、アルバイトをしながら、勉強しなければなりません。学校から帰ってアルバイトをして、それから宿題したり授業の復習をしたりします。本当に忙しいとき、ご飯を食べる時間ありません。そんな時、いつも国の母が作った料理を思い出します。時々、もうあきらめて、国へ帰りたいと思うこともあります。

留学生の中には、アルバイトに力を入れすぎて、授業に集中できなくなる人もいます。慣れない生活にストレスが溜まり、うつ病になる留学生もいます。一月半前、博多の近くに住んでいるネパールの留学生が川に飛び込んで、自ら命を落としたと聞きました。心の病気や深い悩みがあったのかもしれませんが。

国の家族は、私達が Facebook にアップロードした写真を見て、「あ、みんな日本で楽しんでいるな」と思うでしょう。でも私達の笑顔の裏には心の痛みがあります。それは自分にしかわかりません。

私達は、いつも 100% ががんばらなければならないと思って生きています。でもそうやって考えるのは自分に厳しすぎるかもしれません。ですから、間違えてもいいです。ゆっくり進んでもいいです。仕事、家族、将来のこと、いろいろ心配している人もいます。そんなときはだれかに相談しましょう。一人で悩むよりずっといいです。

最後に、留学生のみなさん、私たちがどうしてここにいるのか忘れないでください。私達は夢をもって日本へ来ませんでしたか。自分を信じて、助け合いながら、あきらめずにいっしょにがんばりましょう。

このスピーチが日本のみなさんに留学生について少しでも考えるきっかけになればいいと思います。これからも留学生への理解とあたたかいサポートをよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	張 青燃(チョウ セイネン)	
テーマ	もう一人じゃないよー	
教室名	楽しい♪日本語クラブ	

皆さん、こんにちは。
中国の南出身の張青燃と申します。
今、時々、一人ぼっちだと感じて、迷ったり、緊張したりする人はいませんか？
大丈夫ですよ。私も同じでした。
でも、今は皆さんに支えられて、こうしてこの会場で発表をしています。
まず、私の考え方が変わった、一つの不思議な話をシェアしたいと思います。
昨年、私は将来への不安がいっぱい落ちて込んでいました。
気分転換するため、一人で紅葉の名所の奈良を訪れました。
昼間は観光客でにぎやかですが、夜になると静まり返り、人影はほとんどありません。
2 日目、夕食の後、ホテルへの帰り道はとても暗く、私以外誰もいません。
しかも、そのあたりは、昔からお化けの話が多く残っています。
歩いていた時、突然、後ろから「カツ、カツ、カツ」と不思議な足音が近づいてきました。
「もし変態や幽霊だったら、どうしよう...」怖くて背中がゾクゾクしました。
音はどんどん速く、近くなってきます。心臓がドキドキ。
何かガリユックにぶつかった瞬間、
「きゃーっ!」思わず大きな声で叫びました。
振り向くと、、、目の前にいたのは――
なんと、一頭のでかい鹿でした。
月明かりの下で大きな瞳がキラキラと、何かを言いたそうに私をじっと見つめています。
「びっくりしたよ」と声をかけると、鹿は何も言わず、お辞儀をしてゆっくりと去って行きました。
その後ろ姿を見ながら、
「そうか、私は一人じゃなかったんだ。鹿が私を見守ってくれていたんだ」。
その瞬間、大げさではなく世界のやさしさに包まれた気がしました。
実は当時の自分は、夢も目標もなく、「何のために生きているんだろう」と悩んでいました。
SNS を見れば皆が輝いて生きているのに、自分だけが取り残されているようで、
孤独感で胸がいっぱいになりました。
でも、あの日、鹿は教えてくれました。
「君は一人じゃないよ」と。
それから私は、日常の小さな幸せに気づくようになりました。
店員さんの「こんにちは」、同僚の「おつかれさま」、帰り道の綺麗な夕焼け、自分にご褒美のビール。
そして、日本語教室の仲間たちの笑い声。
そんな小さな幸せが、孤独を少しずつ癒し、前へ進む力に変わりました。そして、新しい夢も見つかりました。
もし今、あなたも「一人ぼっち」と感じているなら、ぜひ身近な幸せに気づいてください。
小さな幸せですけれども、きっと、前へ進む力になりますよ。
さあ皆さん、
今日も、明日も、一緒に、福岡で頑張りましょう。
「もう、一人じゃないよ――」
ご清聴、ありがとうございました。

氏名	Lim Figo (リム フィゴ)	
テーマ	日本は友達の家	
教室名	愛和外語学院	

皆さん、国にいた時友達や誰かの家に遊びに行ったことがありますか。その時、どんな態度をとってましたか。ちゃんという態度とってましたか。いい態度例えば、入る前に挨拶したりルールを守ったり、友達がしないことをしなかったりしてますよね。皆さんは友達の家に来て、靴は履いたまま部屋に行ったりしてませんよね。だってたぶん一番大事なのはその家のルールや習慣を尊重することです。リスペクトすることです。皆さん、そういう考え方で日本で生活してみませんか。習慣を変えるのは難しいですけど、それができたら日本人は私たちのことをリスペクトしてくれるかもしれません。でも逆にできなかつたら、嫌われる可能性もありますよ。

私はよくインスタを見ている。たまに外国人がよくないことをした動画が出てきます。コメントを読むたびに大体同じことが書いてあります。「国に帰れ」「なんでここに来たのか」そういうコメントです。私たちただ同じ外国人という理由で何も悪いことをしないのに、そう思われたら嫌でしょう。なので、私たちも出来るだけ自分や自分の国のために、日本のルールや習慣を知って慣れていきましょう。リスペクトしましょう。家の人をリスペクトしないし、ルールを守らなかつたら、もしかしたら帰らされるかもしれません。皆さんは友達の家に来て壊すつもりはないでしょう、壊したくないでしょう。だって皆さんも自分の家だったら誰かに壊されたくないでしょう。それと同じです。

私は少しリスペクトに対して経験があります。ある時バイト先で初めて 50 代のおじいさんとしゃべりながら働きました。日本には敬語がありますから、話し方が大事ですよ。その時私はただ学校で勉強した形で話しました。「ます形」です。でもそのおじいさんはとても嬉しそうに話してくれました。「さっきからずっと丁寧に話してくれてありがとうね」とおじいさんが言いました。

バイト先での他の外国人はたぶんよくタメロで話してますから、私が「ます形」で話すのはびっくりしたと思います。「ます形」が一番簡単じゃないですか。「食べます」「飲みます」「あげます」。ただ一番形で話すと、日本人が喜んで話したくなる可能性がありますよ。日本人にとってそれはリスペクトの一つの方法です。なので、よく考えたらリスペクトするのはそんなに難しくないでしょう。

皆さんせっかく日本に来たので一緒に良いイメージを作りましょうよ。日本人にとって外国人にとってお互いにとって良いことになるために、リスペクトしましょう。日本のルールや習慣にも慣れていきましょう。私もまだまだ勉強してますから、一緒に頑張ってください。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	Butet Marthalina Saragih (ブテト マルタリナ サラギ)	
テーマ	ごちそうさま	
教室名	高取日本語教室	

みなさん、こんにちは。

私はブテとマルタリナサラギです。インドネシアから来ました。どうぞよろしくお願いいたします。

外国人のみなさんは日本に来て、驚いた言葉がありますか。私は日本に来て、2年になりますが、最初にとっても印象に残った言葉の一つがごちそうさまでした。

日本では、食事が終わったあと、自然に「ごちそうさまでした」と言う人が多いですね。最初のころの私は、それをただの「食べ終わった合図」くらいに思っていました。でも、だんだんとこの言葉に込められた思いや意味に気づいていったのです。

「ごちそうさま」には、たくさんの感謝の気持ちが込められています。料理を作ってくれた人への感謝。食材を育ててくれた人、運んでくれた人への感謝。そして、命をいただいたことへの感謝。たった一言で、いろいろな「ありがとう」が表現されているのです。

私の国では、食事の前には普段おいのりをしていますけれども、食事のあとに特別な言葉を使う習慣はありません。食事のあとは「おいしかったね」と言うことはあっても、誰かに感謝を伝えるような言葉はあまり使わないのです。だからこそ、日本の「ごちそうさま」という言葉を知ったときは、少し驚きました。ほかの国の友達に聞いても食事した後「ごちそうさま」という言葉習慣はありません。ただ日本だけです。これはすごい言葉だと思っています。その意味を知ってからは、私も毎回「ごちそうさま」と言うようになりました。

ある日、私は日本人の友だちの家で夕食をごちそうになりました。食事のあと、「ごちそうさまでした」と言うと、その友だちのお母さんがとても嬉しそうに笑ってくれました。「そう言ってくれてうれしい」と微笑んでくれました、その笑顔が今でも忘れられません。そのとき私は、「ごちそうさま」という言葉には、人の心をあたたくする力があると感じました。

この経験を通して、私は「感謝は、言葉にしなければ伝わらない」ということを学びました。どんなに小さなことでも、「ありがとう」や「ごちそうさま」と言葉で伝えることで、人とのつながりが深まるのだと思います。それは、どんな国や文化でも大切なことではないでしょうか。

今では、「ごちそうさま」を言うたびに、心がほっとあたたくになります。それは、ただの習慣ではなく、人を大切に思う気持ちを表す、大切な言葉だと思うからです。みなさん、今日ご飯を食べて終わったら、ごちそうさまと言いましたか。

これからも、「いただきます」と「ごちそうさま」を忘れずに、感謝の心を持って毎日を過ごしていきたいと思っています。ご清聴、ありがとうございました。

氏名	Phway Phway Naing (プウェイ プウェイ ナイン)	
テーマ	自分らしく	
教室名	学校法人麻生塾 日本語科	

皆さん、一日何回ぐらい鏡を見ますか。鏡を見ると、自分のことをどう思いますか。例えば、かっこいいとか、かわいいとか考えたことがありますか。そして、自分の体を見ていろいろ考えたことがありますか。

私は考えたことがありました。私が高校を卒業したとき、私の体重は70キロ以上ありました。私が出かけて友だちに会うと、「え、プウェイさん、太った？え、体が大きくなったね」と何回も何回も言われたことがあります。

私の国ミャンマーではよくあるのですが、私は大家族の中で育てられました。家族のみんなは肌が白くて、体もスマートな人たちばかりです。その中で私はブラウンの肌で、他のミャンマー女性と比べると背も高いです。それで、私が急に太ってきたから、家族のみんなもびっくりして、痩せた方がいいと言ってきました。そんな言葉を何回も聞いたせいで、私はだれにも会いたくない気持ちになって、友だちに誘われても、出かけなくなってしまいました。そして、自分の体を見て自信もなくなってがっかりしました。

ある日の夜に私は今自分が落ち込んでいることを母に言いました。その時、母は私を抱きしめて、話してくれました。「大丈夫だよ。お母さんの目には、プウェイちゃんが太っているように見えないよ。お母さんが作った美味しい料理を食べて成長しただけ。お母さん、お父さんにとってはプウェイちゃんが太っても、肌がブラウンでも、それは重要じゃない。あなたは私が生んだ子供で、親のために神様がくれた大切な宝物だよ。」とってくれました。

そんな時、ミャンマーで若者に人気があるプラスサイズモデルの人の写真を SNS で見つけました。彼女も私と同じように他の人から太いとか、大きいとか言われたことがあるそうです。彼女はこのように言っていました。「ありのままの自分を愛する、ボディポジティブです。見た目だけで人の価値を決めないで、ありのままの体を受け入れ、自信を持とうと伝えたいのです。」

私は、母やそのモデルの話聞いて、自分のことをもう一度本気で考えました。母からもらった体は変えることはできません。自分のことを太ったと言う人の言葉を気にして自分を嫌いになるより、ありのままの自分を好きになることが大切だと思いました。そこから、私は太いとか大きいとかという言葉に気にならないようになりました。例えば、友だちがまた太ったねと言ってきたとき、「あ、はい、お母さんがおいしいものをたくさん作ってくれるから」と笑いながら返事をしました。このように、いやなことを言われても、落ち込まなくなりました。そのおかげで、私は日本に留学できて、そして今、皆さんの前で話すことができています。

皆さんも他の人からいやなことを言われたことはありませんか。昔の私のように、他の人が言った言葉を全部聞くのはストレスになります。もちろん自分が直さなければならぬところは聞かなければなりませんが、自分自身を受け入れ、ありのままの自分に価値があると考えてポジティブに生きたほうがいいと思いませんか。私はポジティブな考え方がいろいろなことの成功に必要なだと思います。皆さんは皆さんらしく生きてください。わたしはこれからも自分らしく生きていきます。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	Oni Afroza Khanom (オニ アフロザ カノム)	
テーマ	2つ目の夢に向かって	
教室名	小さな国際交流会	

私はアフロザと申します。バングラデシュからまいりました。今日は私の人生の 1 ページをご紹介しますと思います。それは日本に初めて来た時のことと、この3年間の経験です。

多くのバングラデシュの人々は日本のことが大好きです。そのことは国旗を見ていただくとわかります。日本の国旗とバングラデシュの国旗はとてもよく似ています。私たちが 1971 年にパキスタンから独立したとき、日本政府から一番にお祝いのメッセージがとどきました。それ以来 ODA を通して私たちの国への支援が続いています。

さて、私は子供のころからテレビで「ドラえもん」や「ワンピース」をみて育ちました。きれいな道、きちんとした生活、最新のテクノロジー…、日本は驚きでいっぱいでした。そしていつか日本に行きたいという夢を見るようになりました。

2022 年 4 月 14 日、ついにその夢がかないました。私は配偶者ビザで夫の待つ日本に来ることができました。アニメで見た日本より本当の日本のほうが、ずっときれいでした。整備されたみち、当たり前のようにルールを守る人々、自然の美しさ、すべてに私は感動しました。

私の国ではバスや自動車がひっきりなしに通り、人も多く、道を横断するのは大変でした。ところが日本では信号も多く、安心して道を渡ることができます。

日本に来てまず、夫と一緒にたくさんドライブをしました。毎週のように糸島や志賀島へも行きました。ハウステンボスや山の温泉にも行き、私はまるでディズニーの「アラジン」の中の「ジャスミン」になった気持ちでした。「♪見せてあげよう。輝く世界～」

翌年、子供が生まれました。出産は九大病院でした。女の子です。その時の感動は忘れられません。

でも、急に毎日ごとっても忙しくなり、自分の時間がまったくなくなりました。しだいに家にばかりいる生活が、少し退屈になってきたのです。

そこで、マクドナルドで働くようになりました。人生で初めての仕事です。夫と一緒に子供を保育園に送ってから、仕事に行きます。毎日新しいことを学んでいます。

娘は2歳になり、言葉も話せるようになりました。とても可愛いです。毎日大忙しですが、2つ目の夢ができました。

いま日本で必要とされている 介護士になって、お年寄りのお世話をしたいのです。そのために、日本語教室で勉強しています。励ます言葉や元気付ける言葉をたくさん覚えて、お年寄りが少しでも幸せを感じられるよう寄り添いたいのです。やさしいことばや、はげますことばをたくさん覚えたいのです。

いつかきっと、この 2 つ目の夢も叶うと信じています。

「大好きなニッポン、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」

これでおわります。

氏名	金 槿英(キム グンヨン)	
テーマ	日本の親切が私にくれた希望	
教室名	ももちはま日本語クラブ	

こんにちは。私はキム・グニョンと申します。3年前、韓国の釜山から来ました。日本に来た時は夏でとても暑く、日本語も上手に話せないし、生活のための準備もできていなくて「どうしよう」と不安でいっぱいでした。

ある日、韓国から電話がかかってきました。父が急に亡くなったという電話でした。前の日に、電話で話したばかりだったので、とても驚き、悲しみでいっぱいになりました。急いで空港に行きましたが、その時はコロナのために、釜山行きの飛行機が福岡から毎日飛んでいませんでした。なので、関西空港に行く必要がありました。

その時、日本の方々が道を譲ってくださったり、電車のチケットの購入を手伝ってくださいました。大阪でも、ホテルの予約やコロナ検査を手伝ってくださいました。「日本は本当に親切な国だ」と感じました。その時の親切は、今でも心から感謝しています。

残念ながら、父の葬儀には間に合いませんでした。本当に悲しくて辛かったです。さらに娘が怪我をして、1ヶ月間車椅子で生活をしなければなりませんでした。その時も、区役所が車椅子を貸してくださいました。

大変な時期でしたが、日本人の親切さで、私は3つの希望を見つけることができました。一つ目は日本語を話すことです。車椅子の移動をしてくださったバスの運転手さんや、道を教えてくださった方々の親切に感謝し、もっと日本語を話せるようになりたいと思いました。

日本語の勉強を始め、公民館で毎週基礎から学びました。勉強した言葉をすぐに使ってみることで、少しずつ自信がついてきました。二つ目は「一人一花キャンペーン」がくれた幸せです。百道浜公民館で、ノルディックウォーキングや味噌造りに参加する時に、たくさんの花がとても綺麗に咲いています。私に毎朝「おはよう」と挨拶をしてくれているようです。

日本に来て、大変なこともたくさんありましたが、「一人一花」の綺麗な花を見ると私の心は幸せになります。三つ目は、夢を持つことができたことです。私は日本語能力試験にも挑戦し、今年は家族と一緒に福岡マラソンに出る予定です。以前は、日本語で話すこと、笑顔で挨拶をすること、運動をすることは想像できなかったことですが、今、生きる力になっています。

そして今、私は日本の文化や、人々の温かさを多くの人に伝えたいという夢を持つようになりました。日本に来るたくさんの外国人は、きっと私が感じたような親切と美しさに出会えると信じています。最後に、天国にいる父に伝えたいです。「私は今、元気で幸せに暮らしています。ありがとう。」そしてマラソンのゴールでこう叫ぶつもりです。「お父さん、大好きだよ!」皆さま、本当にありがとうございました。

氏名	Doan Nhat Quang (ドアン ニャット クアン)	
テーマ	日本における人工知能とスマートな生活	
教室名	日本語クラスみらい(未来)	

皆さん、こんにちは。

ドアン・ニャット・クアンです。2年前にベトナムから来ました。

IT エンジニアとして福岡で働いています。

新しい技術に触れることや、日本の文化に出会うことが大好きです。

今日は、日本での私と AI との面白い体験についてお話ししたいと思います。

突然ですが、皆さんは「ガスト」というレストランに行ったことがありますか？

初めて、ガストに行ったとき、タブレットで注文したら、ロボットが料理を運んできました。私は、びっくりしました。

ベトナムではそんなロボットを見たことがありませんので、「日本は未来に生きてるね!」と思いました。

AI は家の中でも活躍します。

大分県の友達の家で「アレクサ、電気をつけて」と言うと、すぐに部屋が明るくなりました。思わず「この家は、生きるみたいだね?」と叫びました。

AI は専門的なものだと思っていましたが、日本ではすでに生活の一部になっていると実感した瞬間でした。

さらに、外国人にとって、AI が特に役立つのは会話の時です。

来日したばかりの頃、健康診断の問診で質問が理解できませんでした。たとえば、「あなたは、痛いところがありますか?」「はい」、「あなたは薬を飲んでいますか?」「はい」、「アレルギーはありますか?」「はい」とすべてに「はい」と答えてしまい、重病人になってしまいました。

しかし、翻訳アプリを使えば、先生の質問も正確に理解できます。

「言いたいことが伝わる」こと、「相手の言葉がわかる」こと。これは外国人にとって本当に大切です。

仕事の場面でも AI は力を発揮します。

私はプログラマーですが、AI は、エラーをチェックしてくれ、仕事の効率を改善しています。そのおかげで、お客様に最高の品質のアプリケーションを届けることができます。

しかしながら、AI を利用する際に、注意すべき点があります。

AI はインターネット上の環境にあるため、AI に入れた情報が外に漏れる可能性もあります。また、AI が出した答えは正確だとは限りません。AI は、「参考」や「アドバイス」をくれるアシスタントだと思います。

私にとって、AI は人間の敵ではなく、生活を豊かにする道具だと思っています。

便利である一方で、AI とのコミュニケーションは、人と人との関わりのような温かさをあまり感じません。

大切なのは、人間と AI が協力しながら、便利で安全な未来を作っていくことです。

レストランで、ロボットが料理を運んでくれる時代になった今、次はきっと

「お冷やのおかわりは、いかがですか?」とロボットが聞いてくれる日が来るかもしれません。

AI とともに、もっとスマートで、やさしい未来を築きましょう!

ご清聴ありがとうございました。

第 23 回外国人による日本語スピーチコンテスト 審査について

1. 審査方法

審査員による採点

2. 審査員

大神 智春 九州大学留学生センター 教授
 和田 玉己 九州大学留学生センター 非常勤講師
 村山 龍八 福岡市総務企画局国際部 多文化共生課長
 小川 明子 (公財)福岡よかトピア国際交流財団 専務理事
 池田 則子 日本語スピーチコンテスト実行委員会 委員長

3. 審査員の採点基準、制限時間

評価項目	評価の観点	各審査員持点
(1) 日本語	発音の正確さ、日本語として自然に聞こえるか	10
(2) 内容	全体の構成はよいか、具体性や説得力はあるか	10
(3) 態度	内容に適した表現ができているか、聴衆の顔を見ているか	10
合 計		30

制限時間 (4分00秒～4分30秒) に対する過不足は、以下の点数を審査合計点数から減点する。
 過不足 10秒ごとに 2点

4. 審査結果

	名 前	出身地	テーマ	教室名
最優秀賞	フウェイ フウェイ Phway Phway ナイン Naing	ミャンマー パコック	自分らしく	学校法人麻生塾 日本語科
優秀賞	シャルマ ラリタ Sharma Lalita	ネパール バングルン	私の強い味方	日本グローバル学 院
第3位	ドアン ニャット クアン Doan Nhat Quang	ベトナム ビン ロン	日本における人工知能とスマ ートな生活	日本語クラスみらい (未来)
特別賞	パウデル サンディプ Paudel Sandip	ネパール バングルン	日本に留学した学生の生活と 問題	GAG 日本語学院
特別賞	チョウ セイネン 張 青燃	中国 広東省仏山市	もう1人じゃないよー	楽しい♪日本語クラ ブ